

散策マップ ニヶ領用水



ニヶ領用水は、正式には稲毛・川崎ニヶ領用水と言われ、1611(慶長16)年に竣工した南関東最古の農業用水だ。徳川家康の命を受けた用水奉行小泉次大夫が、地域農民の協力を得て、14年の歳月を要して完成した。対岸(世田谷区~大田区)の六郷用水とともに開削したので、四ヶ領用水とも言われる。

上河原(多摩区布田)と宿河原(同区南河原)で、多摩川の水を堰入れ、市域の平地一体を灌漑した。名産稲毛米の穀倉地帯を生み出したほか、飲み水や生活用水にも使われ、一時は工業用水にもなった。

現在、上流域にわずかに残る農業用水とともに、残された幹線水路は環境用水として保全されている。各所で観水護岸化が始められ、市民が憩える散策路の整備も進んでいる。



②⑦ 井田堰取水口
竹橋上流で取入れ、井田方面に通じ同地域を潤した。

②⑧ 竹橋
ニヶ領用水に架かる中原区最初の橋で、橋の上流には井田堰、下流には木月堰がある。

②⑨ 木月堰取水口
竹橋下流で取入れ、井田を通り木月方面を潤した。

③⑩ 金井観音
ニヶ領用水家内橋の下流にあり、金井壺之助という村人を祀った観音。

③⑪ 常楽寺(マンガキ)
奈良時代の創建で、昭和43年の解体修理時、本堂の横にマンガキの絵を描いたことから「マンガキ寺」として知られるようになった。

③⑫ 春日神社
平安時代、「稲毛荘」の鎮守として勧請。神奈川県重要文化財の彫り籠文が伝えられている。常楽寺を含め周辺地域は市重要史跡に指定されている。

③⑬ 泉沢寺
世田谷藩主吉良氏の菩提寺であり、当時は周囲に「構堀(かまえぼり)」があった。

③⑭ 神地橋(耕地橋)「こじはし」
ニヶ領用水と中原街道が交差する地点で、現在はコンクリート製。

③⑮ 小杉陣屋と小泉次大夫
小杉陣屋町に用水工事のための陣屋があった。陣屋稲荷もある。

③⑯ 今井神社
ニヶ領用水の脇にあり、上流から今井堰が流れ、神社の横を通っている。

③⑰ 波川分岐点
川崎堀を流れる用水は、旧中原消防署の裏で波川を分岐する。近くに水車跡のガイドパネルがある。

③⑱ 平和館横の水路
平和館横から泉立住吉高校横までの川崎堀沿いの散策道は桜並木が美しい。

③⑲ 團圓勝三作の「和」
平和館正面に、故團圓勝三作のブロンズ像が建立されている。

散策モデルコース(C)
(ニヶ領用水沿いの桜と桃をめぐる)

スタート(JR南武線 武蔵中原駅)

③⑩ 金井観音
約2.3km 所要時間約40分

③⑯ 今井神社

ゴール(JR南武線 武蔵小杉駅)

散策モデルコース(D)
(ニヶ領・波川の桜と現在のニヶ領用水の終着点)

スタート(JR南武線 武蔵小杉駅)

③⑰ 波川分岐点
4.0km 所要時間約90分

④④ 二つの堀の分岐点

ゴール(JR南武線 平間駅)

④⑰ 平和公園周辺
平和公園内には「はだしの広場」や藤橋の散策道があり、憩いの場となっている。

④⑱ 昭和橋
住吉中学校横を過ぎると、並がデザインされた昭和橋がある。手前には鹿島田堰の取水口がある。

④⑲ 横須賀線の跨線橋
川崎堀は、横須賀線と交差し、散策路は迂回して跨線橋を渡る。

④⑳ 線路下の川崎堀
横須賀線の線路下を流れる川崎堀の用水路が見える。

④㉑ 二つの堀の分岐点
川崎堀は、旧平間浄水場の横で大師堀と町田堀に分岐した。現終点には、「わが国最初の工業用水」のガイドパネルがある。

④㉒ 町田堀跡の石碑
町田堀跡に、堀があったことを知らせる石碑が設置された。

④㉓ 線路下の川崎堀
横須賀線の線路下を流れる川崎堀の用水路が見える。

④㉔ 二つの堀の分岐点
川崎堀は、旧平間浄水場の横で大師堀と町田堀に分岐した。現終点には、「わが国最初の工業用水」のガイドパネルがある。

④㉕ 町田堀跡の歩道
町田堀跡はカラフルな遊歩道となっている。

凡例

- 散策道みち
- WC 公衆トイレ
- 公共施設
- 広域避難場所
- 桜のみどころ
- 桃のみどころ

ニヶ領用水散策マップ
2010年3月 第1刷発行
2018年3月 第5刷発行

発行 川崎市建設経済局都市計画課
編集 ニヶ領用水工400年 記念事業実行委員会

<問い合わせ>
〒214-0021
川崎市多摩区原町1-5-1 ニヶ領せせらぎ館
NPO法人多摩川エコユース277A
TEL・FAX 044-922-1025

